

公開シンポジウム

(第3回「土の教育」研究会)

「土」についての理解を深める

日時：2026年11月8日（日）13：30～17：00

場所：京都府立大学（京都市左京区下鴨半木町1-5）

農学生命科学科 学生実験室（1号館2階1201号室）

*大学へのアクセス：<https://www.kpu.ac.jp/access/>（JR京都駅から京都市営地下鉄烏丸線の国際会館行きで約16分、
「北山駅」下車、正門まで南へ約600m）

*キャンパスマップ：

<https://www.kpu.ac.jp/guidance/campus/shimogamo/>

※Zoomによるオンライン配信もいたします。

定員：対面参加 先着50名、オンライン参加 先着300名

参加費：無料

参加対象：小・中・高等学校等の教職員、
教育委員会関係者、大学教員、
教員志望の学生など*下記のフォームまたはQRコードからお申し込み
ください。<https://forms.gle/ihj8E4ooB4UMRumM6>

申込締切：2026年11月1日（日）



皆様は4パーミル・イニシアティブをご存知でしょうか？4パーミル・イニシアティブとは、「世界の土壌の表層の炭素量を年間0.4%（4パーミル）増加させることで、人間の経済活動によって発生する大気中の二酸化炭素を実質ゼロにすることができるという考え方に基づく国際的な取り組み」（農林水産省HP）です。

また、「植生を中心とし土壌を環境要素の一つとして、それらの相互作用系を考える生態系の概念」に対し、「土壌を中心に置き、植生をも含めた環境要素の間の相互作用が土壌を生成するという現代の土壌観」が提唱されています（久馬一剛「土壌とは何か」同編『最新土壌学』朝倉書店、1997年、p.8）。

このように、「土壌」には、私たちの世界の見え方を転換させてくれる面白さがあります。しかし、学習指導要領で、「土」が扱われる場面は極めて限られています。

そこで、この度、「土の教育」に関心をもつ先生方と、土壌学の専門家の先生方との間で、「土」をどのように教材化していくことができるのかに関して、共同研究する会を立ち上げることにいたしました。

第3回研究会では、日本学術会議でまとめられた報告の内容を紹介するとともに、学習指導要領改訂の動向と絡めて「土の教育」の可能性を検討します。また、中学校における「土の教育」の実践をご報告いただくとともに、「土」について学ぶワークショップを実施します。その後、参加者間で交流を深めるとともに、「土の教育」に関するご質問に土壌学の専門家が回答いたします。

共 催：一般社団法人日本土壌肥料学会

京都大学大学院教育学研究科教育実践コラボレーション・センターE.FORUM



日本土壌肥料学会創立100周年記念事業 公開シンポジウム
(第3回「土の教育」研究会)

「土」についての理解を深める

次 第

13:00 受付開始

<第1部>

13:30 オープニング

13:50 なぜ今、「土の教育」なのか：

日本学術会議農学委員会土壌科学分科会／農学委員会・食料科学委員会合同
IUSS分科会／農学委員会植物保護科学分科会「Soil Health（土壌の健康）：
国民的理解と持続可能な管理のイノベーションの推進（報告）」の紹介
波多野 隆介（北海道大学名誉教授）

14:10 学習指導要領改訂の動向と「土の教育」の可能性

西岡 加名恵（京都大学大学院教育学研究科教授）
京都大学教育学部学校探究ゼミナール2026年度「土の教育」班

14:40 中学校における「土の教育」の実践

左海 亮（香川大学教育学部附属高松中学校教諭）

15:00 休憩

<第2部>

15:10 「土」について学ぶワークショップ

日本土壌肥料学会土壌教育委員会
森 圭子（埼玉県立川の博物館学芸グループリーダー）
小崎 隆（愛知大学国際問題研究所名誉教授） ほか

16:30 全体交流会、質疑応答

17:00 クロージング

<参考>

※ 第1回研究会「『土の教育』始めませんか？」の動画と資料の
一部は、下記のサイトでご覧いただけます。
https://e-forum.educ.kyoto-u.ac.jp/seika/soil_education/
※ 日本土壌肥料学会 土壌教育委員会のサイトにもご注目ください。
<https://jssspn.jp/edu/>

総合司会：矢内 純太（京都府立大学大学院生命環境科学研究科教授）
西岡 加名恵（京都大学大学院教育学研究科教授）

<問合せ先>

京都大学大学院教育学研究科 教育実践コラボレーション・センターE.FORUM
e-mail: e-forum@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

